

(参考資料)

突合せサンプル調査の結果について

平成23年1月12日
日本年金機構

年金記録に係るコンピュータ記録と紙台帳等の突合せサンプル調査の集計結果について

今後、審査の結果不一致となった案件については、ご本人に確認をお願いした上で、記録補正の要否を判断することとしており、最終的な結果ではないことに留意が必要。

1. サンプル調査の概要

①目的

突合せ対象者の年齢階層等による突合せ結果を検証し、今後の突合せの実施方針の検討の資料とするため。

②調査対象者

以下の条件で無作為に抽出（5901人）

- ・厚生年金又は船員保険に係る記録のみが紐付いた方（CSV記録の正確性を確認中の国民年金に係る記録については今後実施予定）
- ・年齢3階層（75歳以上、65歳以上75歳未満、65歳未満）の人数が概ね均等となるよう抽出

年齢階層	調査対象人数	紐付いた紙台帳等の件数
75歳以上	1998人	19503件※
65歳以上75歳未満	1944人	16779件※
65歳未満	1959人	9460件※
合計	5901人	45742件※

※紙とマイクロフィルムの記録が重複しているもの、払出簿等を含む。

2. 集計結果（人数ベース）

	一致	不一致
75歳以上（1998人）	1724人（86.3%）	274人（13.7%）
65歳以上75歳未満（1944人）	1774人（91.3%）	170人（8.7%）
65歳未満（1959人）	1926人（98.3%）	33人（1.7%）
合計（5901人）	5424人（91.9%）	477人（8.1%）

3. 不一致の内訳

①コンピュータ記録において、突合せを行った紙台帳等の記録が入力されていない者 110人（1.9%）

※①となる者には、併せて資格取得日等に関する記録の一部が異なっている者（②となる者）が含まれている。

※新たに判明した記録の開始時期

開始時期	昭和10年～	昭和20年～	昭和30年～	昭和40年～	昭和50年～	昭和60年～	合計
件数（割合）	31（21.2%）	51（34.9%）	31（21.2%）	24（16.4%）	5（3.4%）	4（2.7%）	146（100%）

（注）複数の紙台帳記録が新たに判明している者がいるため、合計は110件とは一致しない、

判明した記録の平均期間（複数件の記録が判明した場合は合計の判明期間）は約20カ月である。

②資格取得・喪失年月日、標準報酬に関する記録の一部が異なっている者 367人（6.2%）

③不一致となった者の特別便等の回答状況

特別便等におけるご本人の回答		紙台帳等との突合せ結果	紙台帳等の記録がコンピュータ記録に入力されていない（記録判明）	記録の一部が異なっている（記録訂正）	合計
『もれ』や『誤り』はない			70 (63.6%)	261 (71.1%)	331 (69.4%)
『誤り』や『もれ』がある	申告された記録が判明した		5 (4.5%)	23 (6.3%)	28 (5.9%)
	申告された記録が判明しなかった		2 (1.8%)	9 (2.5%)	11 (2.3%)
	調査中		2 (1.8%)	7 (1.9%)	9 (1.9%)
ご本人からの回答なし等			31 (28.2%)	67 (18.3%)	98 (20.5%)
合計			110 (100%)	367 (100%)	477 (100%)

④①、②のうち、今回の突合せにより、年金見込額が増額となる者

75歳以上（1998人）	236人（11.8%）
65歳以上75歳未満（1944人）	154人（7.9%）
65歳未満（1959人）	19人（1.0%）
合計（5901人）	409人（6.9%）

※年金見込額は、あくまでも機械的な試算であり、今後、ご本人の確認等により変わりうるものである。

※今回の突合せにより、新たに年金を得ることとなる者は2人（70歳1名、65歳1名）

4. 年金回復見込額

①年金回復見込額

最高額 1, 049, 400円 (年額)

最低額 200円 (年額)

※年金見込額は、あくまでも機械的な試算であり、今後、ご本人の確認等により変わりうるものである。

②年金回復見込額の平均

	年金見込額が増額となる者の平均増加額 (生涯額。括弧内は年額)	調査対象者の1人当たり平均増加額 (生涯額。括弧内は年額)
75歳以上 (1998人)	約101万円 (約4.4万円)	約11.9万円 (約5200円)
65歳以上75歳未満 (1944人)	約43.3万円 (約2.1万円)	約3.5万円 (約1700円)
65歳未満 (1959人)	約9.7万円 (約4700円)	約0.1万円 (約50円)
合計 (5901人)	約68.1万円 (約3.3万円)	約4.7万円 (約2300円)

※ 年金見込額は、あくまでも機械的な試算であり、今後、ご本人の確認等により変わりうるものである。

※ 65歳以上の者 (3942人) については、年金見込額が増額となる者の平均増加額は約72.2万円 (生涯額。年額は約3.5万円) となり、調査対象者の1人当たり平均増加額は約7.0万円 (生涯額。年額は約3400円) となる。

※ 年金見込額の生涯額については、65歳から受給した場合の回復総額を、平均余命と老齢年金給付額の男女比率を用いて試算したものである。

(参考) 厚生年金被保険者名簿等のサンプル調査(平成20年実施)を基にした分析

- 厚生年金被保険者名簿等のサンプル調査においては、調査対象者1人につき、1件の厚生年金被保険者名簿の突合せを実施したものであるが、今回の突合せでは、1人の方に複数件の紙台帳等が紐づいており、その全体について突合せが実施されるものである

※75歳以上の者については平均約6.4件(重複分等を除いたもの。以下の年齢階層において同じ)、
65歳以上75歳未満の者については平均約5.7件、
65歳未満の者については平均約3.2件の紐づけがなされている。

- その点を踏まえ、厚生年金被保険者名簿等のサンプル調査の結果の不一致率を今回の紙台帳等の突合せサンプル調査対象者に当てはめると、不一致率は以下のとおりと試算され、年齢階層別の傾向は、今回のサンプル調査の結果と同様である。

	試算される不一致率	(参考) 今回のサンプル調査不一致率
75歳以上	12.4%	13.7%
65歳以上75歳未満	8.3%	8.7%
65歳未満	1.8%	1.7%
合計(5901人)	7.5%	8.1%

(厚生年金被保険者名簿等のサンプル調査の概要)

- ・対象件数(厚生年金被保険者名簿・原票) 約20000件
- ・コンピュータ記録との突合せ結果の不一致件数及び不一致率
 - 277件(対象件数全体の1.4%)
 - うち、75歳以上の者
 - 164件(当該年齢階層の2.1%)
 - 65歳以上75歳未満の者
 - 70件(当該年齢階層の1.5%)
 - 65歳未満の者
 - 43件(当該年齢階層の0.6%)
- ・年金受給者で年金額が増額となる者の平均増加額(年額) 1.7万円